

6 食の安全と吉川市の農業

◆豊かな土壌と首都圏内という立地条件の中で、多彩な農産物が生産され、「ねぎ」「こまつな」「ゆり」「バンジー」などが全国トップクラス、また米も全国17位の産出額となっている埼玉県。◆そうした中、我が吉川市も古くからの良質米産地ですが、未来に向けて多くの課題を抱えています。◆現在埼玉県は、吉川東部地区における埼玉県型圃場整備や、担い手の育成を進めており、農地集約、道路・水路整備などの基盤整備により、収益力の向上と共に新規農業従事者の拡大を図っています。◆しかし、もっとも大事である「水」の質について、多くの農家の方々からご要望をいただいています。これは農作物のみではなく環境問題にも通じる大きな課題です。現地調査をはじめ、改善に向けての取り組みを進めています。◆また現在日本では食用の商業栽培は行われていませんが、G作物（遺伝子組み換え作物）についても、食の安全面など様々な角度から議論を進め、対応を考えていかなければいけません。



市民の皆さんと田植え体験を 農地の現地調査を

7 高齢者問題と「さいたまゴールドシアター」

◆今後、埼玉県は全国一のスピードで高齢化が進み、2030年には約3人に1人が高齢者となる予測です。そうした中で、高齢者の現場を支える為に「地域包括支援センターの充実」「認知症サポーターの養成」「市民後見人の養成」等に取り組んでいます。◆さらに、「健康長寿」や「生きがい」をキーワードとする「高齢化社会」の新たなあり方として、演出家・蛸川幸雄氏率いる、平均年齢73歳の高齢者劇団「さいたまゴールドシアター」にも注目しています。◆今年はバリ公演も果たした「さいたまゴールドシアター」の活動を多くの方に知ってもらう中で、「吉川ゴールドシアター」の立ち上げや、吉川西南高校演劇部とのコラボレーションをと考えています。



高校の先輩にもお誘いした蛸川幸雄氏と

8 北朝鮮拉致被害

◆被害者家族の切実な思い…。横田めぐみさんは、今から36年前の昭和52年(1977年)11月15日、13歳の時に拉致されました。お父さん、お母さん、双子の弟とにぎやかに朝ご飯を食べ、中学校へ。しかし、それが家族との最後に。写真は拉致された直後のめぐみさん。議員である前に、小さな子供を持つ親として、胸がしめつけられます。◆北朝鮮に拉致された日本国政府が認定するのは17名。しかし、それ以外にも拉致が疑われる失踪者は、現在960人(警視庁発表)を超えています。2002年の小泉首相訪朝後、帰国をした被害者の1人、曾我ひとみさんも政府が拉致認定をしていた拉致被害者ではなく、北朝鮮から名前が出るまで普通の行方不明者とされていました。◆他人事では無く、自分達の家族の事のように皆が気持ちをひとつにして、一刻も早く拉致被害者を救出する。そうあるべきです。しかし、何十年とそれが出来ないこの国…。そうした国のあり方が、教育、経済、環境等、この国が抱える様々な問題の根底に横たわっている、そう思いませんか。いち地方議員では、出来ることに限りがあるかもしれませんが、署名活動などで多くの国民に伝え、政府に訴えてゆくことは出来ます。皆さんのご協力、よろしくお願いします。



最後の一人まで

9 ひきこもり問題とキャリア教育

◆埼玉県内のひきこもりの若者は少なく見積もっても約4万人。また、高校卒業者の6%にあたる3,500人程が無業者・不安定就労状態となっており、若年者における問題は多岐、多様化し、少子高齢化が進む社会の根幹にかかわる大きな問題として年々深刻化しています。◆現在に至るまで20年間、NPOの代表としてこうした問題に取り組んできましたが、これらは「心が弱い若者、怠け者の若者」としてのみ捉えるべき問題ではありません。◆政治のふがいなさや、理念・国家観の乏しい教育、様々な化学物質に取り囲まれた食生活や環境、雇用に見える産業構造や利益至上主義の企業理念のあり方など、現代社会が抱える様々な問題や歪が若者たちに現れているのです。◆そうした中、問題を抱えている若者への直接的な支援の充実はもちろんのこと、「キャリア教育」の推進をはかり(今年度も松伏高校など5校がNPOカタリバによるプログラムに参加)、そうした若者を生み出さないための取り組みを進めています。



カタリバの授業風景 茨城大学・伊藤教授との共催

10 日本一長いサイクリングロード

◆今年もサイクリングイベントを開催しました！ 今回の目的地は「葛飾柴又」。天気にも恵まれ、市民の皆さんと共に江戸川サイクリングロードを走り抜けました。◆利根川～江戸川サイクリングロードは2011年に完成し、群馬県渋川から東京ディズニーランドまでを結ぶ総距離170キロ(そのうち90キロが埼玉県エリア)の日本一長いサイクリングロード。埼玉県の誇るべき財産です。◆また、埼玉県は自転車保有率が76.9%であり、出荷台数と共に全国トップ(H20年)。この特色を生かし、健康増進、環境負荷軽減、地域活性化を目指す「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」を推進しています。◆吉川市においても自転車の安全利用の推進と共に、サイクリングの楽しさや有益さを今後も広めてゆきたいと思えます。



第2回ぐるっとサイクリング

11 水と川の再生

◆東に江戸川、西に中川、中央に大場川、さらに市中をまわる用水路と、まさに「水と川の郷」である吉川。その「水と川の再生」こそが吉川市のさらなる発展の鍵です。◆そこで「合併処理浄化槽の普及と定期検査の実施率向上」「木売落悪水路の浄化」「大場川の浄化と整備促進」「子供たちへの環境教育の充実」等、「水環境の整備」を進める活動を続けています。◆埼玉県は県土の中で河川の占める割合が3.9%と日本一。水と川は私達の生活に安らぎと充実を与え、地域の発展の礎となる共有資産であり、その文化的・社会的価値は計りしれません。子供達の世代に美しい未来を手渡すためにも、皆さんと共に進めてゆきます！



さらさらの清流を美しい川にするためにも！ 大場川の現場調査

12 陳情

◆日々、多くの方からご意見、ご要望を頂いています！ 国、県、市との連携をはかりながら、ひとつずつ課題をクリアしています！！



すぐに現場調査を 子供達が思い思いの水遊び 早稲田マクドナルド前の果道 吉川西南小学校前の信号機



お餅つきにお呼ばれ

拉致被害者救出の署名活動

吉川マルシェにて

フットサルでの交流！

卒業式で挨拶